

わがまち フォト グラフ



安祥中学校で、昨年デビュー30周年を迎えたシンガーソングライター梅原司平さんを招き、親子ふれあいコンサートが行われました。梅原さんは年間50校近い学校公演を行い、自分の体験に基づく話を織り込みながら、心を育てる大切さを歌い続けています。ステージの最後には「折り鶴」を生徒も一緒に合唱。愛と優しさあふれるすばらしいコンサートになりました。

7/2

相撲部屋を「嚙」？が激励



大相撲名古屋場所のため、のらすのもり里町不乗森神社に部屋をかまえる二十山部屋をあげほの保育園の年長児50人が激励に訪れました。園児たちは自宅から持ち寄ったタマネギ、ジャガイモなどの野菜をプレゼント。また、園で作ったささ飾りを贈りました。短冊には、「がんばってください」「強くなってください」というメッセージのほかに「転ばないでください」というものも。「そりゃそうだ、転んだら負けだからね」ともらった力士も苦笑いしていました。

6/15

「愛と優しさ」を歌に託して



市内小中学校の教職員が、16の学校に分かれて一斉に研究授業による研修を行いました。二本木小学校では、「いつでも使える水」と題した4年生の社会科の授業が公開され、校長を含む各学校の教職員46人が見学。授業終了後には教職員が別室に集まり、感想や今後の授業のあり方について活発な意見交換が行われました。

6/20

後ろから見る 子どもたちの姿



6/13

わたしたちの油ヶ淵

明祥中学校の全校生徒とPTAが参加して、「クリーン活動イン油ヶ淵」と題した清掃活動が行われました。今年で27回目を迎え、湖岸の清掃のほか啓発看板を補修したり、水質調査を行ったりするなど積極的な美化に努めました。「年々、きれいなようになっていくと思う」という声が多く、こうした地道な努力が確実に実を結んでいるようです。



「男女共同参画」というテーマについて、楽しく語りながら考えていこうと、「楽集会」と銘打った会がこの日、行われました。大学講師中島美幸さんの基調講演の後、10人ほどのグループに分かれて、文字通り「楽しく」活発な話し合いが行われました。そして、「女性が市長になってもいいじゃない」という意見が飛び出すと、会場は大きな拍手に包まれました。

6/25

男女共同参画「楽集」会



東栄町のAコープ北部店駐車場に、地域の資源ごみ回収に出せない人のための「リサイクルステーション」が常設されました。古新聞など保管が困難なため燃やせるごみとして出されてしまっていたものが、本来のリサイクル可能な資源ごみとしてより適切に回収されることになりました。

6/16

ジャガイモ収穫祭



あいにくの小雨が降る中、祥南小学校でジャガイモの収穫祭が行われ、23組の家族が参加しました。ジャガイモは、主任児童委員と安祥中学校ポランティア部の生徒が3月に植えたもの。大きく育ったため、たてのジャガイモを、釜ゆで・塩ゆでにして、みんなで味わいました。